

談山神社の紅葉で美しい朝を迎えた「古都奈良ツアー」二日目 11月19日

パソコン復活で永らく休載した拙ブログ再開します。

くまたつ



(画像) 昨秋の高校同期会による「古都奈良ツアー」二日目は談山神社前の多武峰観光ホテルで目覚めた。

朝風呂のあと5階の朝食会場へ。

そこで目にした光景は昨日にも増した紅葉の圧倒的な美しさだった。

この日の最初の訪問地は「山の辺の道」。そのためバスで天理トレイルセンターに向かう。ここから5, 4 km先の大神神社(おおみわじんじゃ)まで歩く予定である。



先ず崇神天皇陵に参拝する。(画像)

そこから歩き始めたが、途中史跡が多く、また景色も素晴らしく、思ったように歩が進まない。

おまけに、途中いたるところにみかんなど季節のものが売られており、これらにも気をとられる。



天理市トレイルセンターを出発して2時間、予定では大神神社に到着していなくてはならないのに、そこまであと1, 5 kmを残した桧原神社でタイムオーバーしてしまった。

これから後のこの日のスケジュールも考慮し**箸墓古墳**に向けて歩くことにする。途中までバスが迎えにきてくれることになった。



箸墓古墳を見学のあと、昼食場所の三輪そうめん山本・麺ゆう館に向かう。

ブログ紹介

●南国 shirokuma さん

お久しぶりでございます。PCの復活良かったですね。(^^)

☆すったもんだの末にやっと解決です(笑)



おっしゃる通りの日本の原風景、和みますね。

皆さんとても元気に歩かれてる事にびっくりです。(^^)^^

☆旅行記も大変遅くなりました。

正直に言いますと、思い出すのに必死ですよ(笑)



●じじくさい電気屋さん

今日は、御無沙汰でございます。

パソコン復活良かったですね、私はパソコンいじりが趣味なのでポンコツばかりですが整備されたパソコンが所狭しと置いてあります。(かなり邪魔者扱いですが)

☆私はメカに弱いので、大変手間取りました。羨ましいです。

豊かな自然が一杯の写真見させて頂きました、奈良の旅行って見たいですね。

☆奈良はいろいろ楽しませてくれました。また行きたいです(笑)

パン工場ですが神奈川県の緑区に有り山のまた山奥です、自然がとても良い所です。

ありがとうございました。☆日テレ注目ですね。



●あんださんのなんとさん

お帰りなさい、おひさしぶりです(*^_^*)

山の辺の道、行きたかったところですよ！

時間がなさ過ぎて大神神社の辺りはスルーとなってしまったのです(/_;)

ぜひぜひリベンジしたいですね。

とても気持ちよさそうです。

☆全くの季節はずれのアップになってしまいました。今考えても楽しい2時間の歩きでしたよ。



●rinzoさん

復活を待っておりました。

☆やあやあ やっとの復活です。これからもよろしくお願いします。

やはり談山神社は素晴らしいですね。

また行きたくくなりました。

☆ここの紅葉は天下一品でしょう。

崇神、景行天皇陵も懐かしいです。

大学時代に友人と天皇陵巡りという地味な事をしていたことを思い出します(笑)

残る天皇陵は淡路島の淳仁天皇陵のみなのですが、しばらく行けそうにないです。

やはり大和路はいいですねえ。

☆奈良で学生時代を過ごされただけに天皇陵もたくさん行かれたのですね。羨ましい限りです。

大和路の3日間は夢のようでした。





●まほろば 407 さん

おはようございます^^ Pcの修復良かったですね(^o^)

古代大和紀行見せて頂いて・・・四季折々年に一度は散策しています、天理のトレイルセンターから 大三輪神社迄 4 キロ御陵あり 墳墓あり 古代の道を良く散策されました(^_^)

後ろから4枚目のphotoが 神霊の三輪山を望んで 代表的な眺めです。良き思い出を綴って下さい!(^)! 有難うございました(^_^)

☆長い間ご無沙汰しました。今日は素敵な感想をお寄せいただきありがとうございます。

いつも大和路を散策されるまほろばさんが羨ましいです。



●kopanda06 さん

こんばんは。

三輪神社まで歩かれたのですね。

ということは、有名な三輪鳥居もご覧になったわけですね。

本殿がないので拍子抜けかもしれませんが、昔ながらの神社です。

素敵な旅行だったようで何よりです。

☆三輪神社は目的地ではなくて、大神神社まで歩く予定でした。そのためもあり三輪神社のことは事前調査をすることもなくて、三輪鳥居も本殿がないのも見落とししてしまいました。

kopanda さんのご教示でネットでやっと見る事ができました。もう少し周囲も見れば良かったと反省しきりです。



●chiichan60 さん

おはようございます。

秋の美しい紅葉のお写真を拝見したので、お邪魔して旅行記を読ませていただきました。

今まで訪れたことのない場所ばかりです。

高校の同期生と一緒にのどかな風景の中を旅して、楽しい時間が過ごせましたね。

☆高校を卒業してもう60年近くなりますが、同級生とはすぐ昔に戻ります。不思議なものですね。



二目を迎えた「古都奈良ツアー」は山の辺の道を天理市トレイルセンターから三輪神社（大神神社の摂社）まで散策のあと、のんびりとした道を箸墓古墳に向かった。

箸墓古墳は、こんもりとした森が鎮座するような、存在感がある。全長280m、後円部径155m、前方部長125m、前方部全面幅147mの全国1番目の前方後円墳だという。これまで見てきた他の古墳を含めて

大きすぎるために、前方後円墳という形状についても目視では分かりにくい。空から見てみたいものだ。



話題閑休。余談を一つ！

箸墓古墳の見学にバスで向かう途中、**古墳の近くで「日本一たい焼」の看板が目についた。**

この日の昼食は「三輪そうめん山本 麺ゆう館」の予定である。ここも古墳から歩いてすぐの場所だ。そこに行く途中再びたい焼きの看板を目にする。甘党の私は、この看板を目にして猛烈にたい焼きを食べたくなった。そこでおいしいそ〜めんと柿の葉寿司の昼食もそこそこに、皆の「たい焼きも食べたい」と言う言葉にも応えるために、S嬢と

二人で買いに走った。だが、次の予定のため、時間は余裕があるわけではない。店に着いて人数分を買おうとするが、たくさんの方が待っており、時間までには買えそうにない。交渉の末、人数分の半分の個数をやっと買えて急ぎバスに間に合わせた。



仲良く半分づつ分けて食べた感想を言えば、看板に偽りはなく、とてもおいしかった。

鹿児島に帰って「日本一たい焼」のことをネットで調べてみると（物好きなおじさんと笑わないで！）なんと九州の福岡が発祥で佐賀に一号店のあるフランチャイズ店であることが判明。現在九州、大阪、四国に44店舗を展開しているとのこと。

ただ鹿児島には大隅半島の志布志市にあるのみとのことで残念。

・・・たい焼き店の写真

肝心の昼食場所の三輪茶屋の写真も食事もアップするような写真がない。

そのあと、バスは法隆寺に向かう。

ブログ応答

●悠々愛々さん

おはようございま〜す。 古墳より、日本一のタイ焼きにコウフン！！！！

味は普通のタイヤキと、どう違うのですか？

☆とてもおいしくて、他に類を見ない(笑)

●よっちゃん67さん

こんにちは〜。 ご無沙汰していました、お悔やみの言葉を戴き有難うございます。

お義姉さんと言うより、私達、姉弟にはお母さんの様な間柄に成って居ました...

私達が幼いときに母とは死別して居て、長男のお嫁さんであり、私達の母代わりでも有ったのです。。

☆おういう間柄であれば、悲しさも一入でしたね。

ブログ、休み 休みですが更新して行きたいと思って居ます、こちらこそ、これからもよろしく願いますね。

☆私もぼつぼつです。

●じじくさい電気屋さん



法隆寺は聖徳太子が建立した寺院として、1400年を超えて受け継がれてきた我が国現存最古の寺院建築であり、日本最初の世界文化遺産である。

(奈良で会った観光ボランティアさんによると聖徳太子そのものの存在を否定する説もあるとのこと、ここでいつものように史実と伝承について考えさせられた)

さて懐かしい「南大門」である。案内板には「国宝 法隆寺総門 室町時代」とある。

ここで全員での記念撮影をして、「中門」に進む。

写真では分かりにくい、中門の屋根の下、左右に金剛力士像(仁王像)がある。

・・・間に仁王画像が2枚入り

二体とも350cm超の仏像で、塑像(土を固めてつくる)という。

仁王像が塑像というのは珍しいが他にもあるとのことである。

有名寺社のものは木彫りが多いが、私が今まで鹿児島で見た仁王像はほとんどが、石造である。もっとも廃仏毀釈により破壊されほとんどが完全な形では残っていないが・・・。

この法隆寺の仁王像は塑像のため、傷みがはやく、昨形は体部を木彫りに置き換えたとのことである。

中門を入ると左に五重塔

ブログ応答 (逆立ち天使さん)

●逆立ち天子6189さん

こんばんは。

法隆寺が史書にある様に焼亡してるとすれば、現存する建築物との整合性がありません。昔川が流れていた近くに”留め置き”という地名がある様に、わたしも移築説に同意しています。

倭国の観音寺の物を移築したという説です。

聖徳太子も倭国の人物で、近畿王朝には時代的にも未だ太子制がありませんでした。





史書を見ても、太子と名乗るのは聖徳太子一人だけ
党不思議さに誰も違和感を抱かないのが不思議でな
りません。

また救世観音、百済観音などの造形にも違和感を抱
くのも、倭国から奪い取ってきた仏像だからだと思
うのですが。

☆私は以前、梅原猛書の「隠された十字架 法隆寺
論」を読んで以来、法隆寺には大きな興味を持って
います。

法隆寺の七不思議や七つの謎など多くの疑問に驚い
ています。

しかし、分からないことが多く、これからもっと調
べてみたいと思っています。

●rinzo さん

法隆寺は本当に素晴らしいですね。

お寺の持つあまりにも重い「歴史」で言葉を失いま
す。

いやー、また法隆寺にお参りに行きたくなってしま
した。近々行ってしまおうかもしれません(笑)。

☆私は2回目でしたが、法隆寺や東大寺、薬師寺な
ど何回でも行きたいです(笑)

救世観音をご覧になられたのですね。

まだ拝んだことがないので羨ましくすぎます。

☆タイミングよく拝観できました。自分のカメラで
写せないのは残念です。

●flamenco22 さん

クマタツさん、ご無沙汰してます〜^^;

お変わりないですか？

法隆寺、荘厳ですね〜

私も、行ってみたいです□

仏像のお顔、かなり迫力ありますね。

小さい子は、怖がっちゃいそうです〜(*_*)

☆若い人はこれから訪ねられるチャンスはいくらで
もありますよ。

仁王像はさすがに迫力満点ですね。

●kopanda06 さん

こんばんは。

「下馬」の石碑は、奈良ではよく見かけます。

これも地域性でしょうか。





法隆寺のお隣の法起寺にも立派な下馬の石碑があります。

☆「下馬」の場所はそれほどポピュラーだとは知りませんでした。考えてみると日本全国どこにでもあって当然な場所ですよ。しかし記念碑的にその場所に石標などがあるのは知りませんでした。

私がよく行く法隆寺ですね。

ここの仁王像は特に好きです。

何が良いとって、この仁王様までは無料で見ることができますので。

☆鹿児島には破壊された石像の仁王像はたくさんありますが、このようなものはほとんどありません。歴史も迫力も違います。今回、改めて素晴らしいなと思いました。



●あなたさんのなんとさん

こんばんは。

以前法隆寺に伺った時には閉門間際だったのでゆっくり見られず残念です。

よって下馬にも気づきませんでした(-_-)

下馬評とはここからきているのですか…

鎌倉には下馬という地名があります。

中宮寺の半跏思惟像はステキですよ(*^_^*)

☆「下馬」という地名までであるとは驚きです。現在で言えば社有車で駆けつける社長族の車のたまり場というところでしょう。そこでは現在も運転手同士で様々な「下馬評」が語られているのでしょうか。政治家また然り。



●kopanda06さん

こんばんは。

救世観音の特別拝観はラッキーです。

フェノロサらの開帳の逸話を知るとさらに…。

☆帰ってからいろいろ調べましたが、明治政府の許可をもらって秘仏を開帳させたフェノロサに感謝ですね。

ところで救世観音のモデルは、聖徳太子、それとも山背大兄皇子と思われませんか？あの異国風のふっくらとした顔つきからは、いずれにしてもイメージが変わってしまいそうですが。☆う～ん難しいですね。現在の私の知識や感性からは答えが出ません。もう少し勉強してみます。





2015.2.27 作成 **法起寺から元興寺へ**



法隆寺を出発したバスは法起寺 三重塔を横に見ながら一路法隆寺へ向かう。

以前奈良を訪ねて時も法隆寺の帰りにタクシー車窓から見ただけで今回こそ思っていたが、願いは果たせず。団体のため止むなし。

ここは聖徳太子が法華経を講説した岡本宮を寺に改めたものと伝えられている。

この三重塔は現存する日本最古のものであり、法隆寺とともに世界遺産の指定を受けている。なおプロ友・kopandaさんによるとこの法起寺にも「下馬」があるとのことである。見たかった。

バスはこの日最後の訪問場所の「元興寺」に着く。

この門は、鎌倉時代の建物として雄大な気風と、すぐれた意匠を持つ四脚門である。

もと東大寺西南院にあった門を元興寺の極楽坊正門として応永18年(1411)この場所に移設されたものである。東門の設置に

より極楽坊本堂を中心とする一画が元興寺旧伽藍から独立した中世寺院として再生したことを示している。(東門案内板) 本堂



ここにも五輪塔板碑があった。ただ鹿児島で多く見られる「双式五輪塔板碑」を見つけることは出来なかった。



これほど多くの石仏などを目にしたのは初めてでしばし去りがたく写真を写しまくった。

このあと、この日の宿の興福寺近くの飛鳥荘に向かった。

ブログ応答

●悠々愛々さん

こんちわあ～～・すっ。。

先輩、至福の時でしたねえ～！！

こんな石仏に囲まれて・・・

わいは、まだ解脱していないから、熟女に囲まれるのがいいです・ Hanson・・・

☆もう最高でござした。

奈良まで行ってこれほどの石仏群に出会えるというのは、日頃の精進の賜物でござす。



●逆立ち天子6189さん

古人の営為に、懐かしさを覚えるのは、何故でしょうね？

☆連綿と続く人の営みに心を馳せるためでしょうか・・・。

古人も同じ景色を見たと思うと感無量なものがあります。



●南国 shirokuma さん

世界遺産行ったのはまだ少ないです。歳月をかけてたくさん行ってみようと思っています。

この日の写真何かピンときませんか。(笑)

☆まさかと思い一瞬目を疑いました。もうびっくりです。ありがとうございました。



●じじくさい電気屋さん

今晚は、何時もありがとうございます。

法隆寺私が訪ねたのは中学校の修学旅行の時、随分昔の事になります。

その頃のアルバムの写真は白黒写真、記憶もかすかになりました。

石塔は凄いですね、500羅漢はもた事有りますが2500の石塔は見事なものでしょう。



☆私も石造物の予備知識は全然持っていないのでの訪問でしたので、もうびっくりするばかりでした。嬉しくて……。

大学カボチャちょうど摺り胡麻しか無くかけましたら見た目汚らしく汚れているかのように写真は胡麻を掛ける前です。

でも摺り胡麻をかけた大学カボチャはとても美味しかったですよ。ありがとうございました。☆私もカボチャは大好きです。



●kopanda06 さん

こんばんは。

法起寺の写真で手前に写っているのが駐車場。

5分でも、その駐車場に止めてもらえれば。

ちなみに「下馬」があるのは、法隆寺とこの法起寺の間にある法輪寺。

この場所に3つの見所が集まっていますので、私は法輪寺の駐車場に車を止めて、3つのお寺をめぐる予定です。



☆地元の人ならではの知恵ですね。5分間の勇気を出せば良かったと今になって思います。

そうなのです。

五輪塔板碑はありますが、双式は見かけません。

双式が多いのは鹿児島の特徴ではないかと思っています。

☆ますます地元の五輪塔双式板碑に興味を募ります。



場所は分かっているが未だ訪問していない所が数箇所ありますから訪問して写真を撮りたいと思います。

「古都奈良ツアー」最終日 三日目は猿沢池や興福寺の近くの飛鳥荘で目覚めた。



右宿泊した飛鳥荘。

この旅行にあたり、プロ友である奈良在住の kopanda さんからいろいろご教示を受けていた一つ「飛鳥荘に泊まれるのなら露天風呂から興福寺の五重塔を見ることができますよ」ということだったので、早起きして露天風呂から写したのが左の写真である。



いよいよ興福寺へ。最初に八角堂造営の南円堂へ。右側は享保2年（1717）の大火で失われた中金堂復元中の現場がある。2018年の完成予定。

奈良を初めて観光する人は先ず奈良公園を目指すという。

実際私も家族を含めてそうだった。初めて奈良を訪ねたのは、高校時代のクラブ活動の仲間4人の家族が集まって京都で同窓会兼家族会を開いた帰りだった。（その4人中、私を含めて3人が今回のツアーにも参加した）

当時私は35、6歳だっと思うが山口県の徳山市（現在の周南市）に住んでいて、その同窓会に参加するため家族5人で初めて新幹線に乗って京都に行った。



2泊3日を4家族で過ごし、解散の後、私の家族はめったにない機会だからと京都と奈良を見て回ったのだった。

そのときの微かな記憶では大阪から近鉄奈良駅に降り立ったところが鹿のいる奈良公園だった。

この時は、真夏の暑い中で子供連れのため、奈良公園と春日大社、東大寺をめぐるのが精一杯だったし、数年前に訪れたときも興福寺に行く時間がなく、今回3度目の正直でやっと興福寺に行く幸運に恵まれたのだ。

この興福寺は藤原氏繁栄の基礎を築いた藤原不比等（藤原鎌足の次男）（659～720）が父鎌足ゆかりの厩坂寺を平城京に移して、藤原氏の氏寺として建てたものである。

五重塔と東金堂



今回、東金堂に入場し金色に輝く「薬師如来坐像」を拝観したが、あの有名な「阿修羅像」には時間がなくて国宝館には入らなかった。会うことが出来なかった。次回を期したい。このあとは東大寺、春日大社へと続きます。

ブログ応答

結柄 yue さん

おはようございます(#^.^#)

天風呂から五重塔、ステキな眺めだったことでしょうね。

> 中学の修学旅行が京都奈良でしたが、奈良公園はコースに必ず入っていました。

今度、もう一度ゆっくり散策してみたいです(*^_^*)

☆修学旅行を思い出していただき、旅心をかきたてていただき嬉しい限りです。
(2015.03.03 08:21:14)

ナイト 1960 さん

『露天風呂から五重塔を見ることができます』!(^^)!

ナイスな情報ですネ！早速(..)ゆメモメモ

☆私も kopanda さんのナイスな情報に助けられてナイスな写真を撮ることができました。

いつも駆け足になっちゃうので、いつかじっくりと見て回りたいと思います(*^_^*)

☆じっくり見て回るとまだまだ新発見がたくさんありますよ。
(2015.03.03 10:24:33)

おはようございます^^

古都・奈良ツアーも大詰めを迎えましたね！クマタツさんと異口同音の旅をしているみたいで、嬉しいです！

6日に神戸から友が遣って来ます・・奈良市内の散策を考えています、やはり興福寺・東大寺・春日大社等の散策となると思います！シーズンとなって最近は外国の観光の方が多く賑わいがピークに成る事でしょう(^_^)☆お友達との奈良散策は楽しみですね。そういうお話をうかがうとまた行きたくくなりました。

kopanda06 さん こんにちは。

国宝館は残念ですが、時間がかかるので仕方がありませんね。九州の博物館でも展示の機会があるかもしれません。

1枚目の写真はまさに飛鳥荘の露天風呂。露天風呂が地下にもあるので上手く伝わったか心配でした。

2枚目の飛鳥荘の庭の花壇は、時々鹿があらしにやってきます。

☆今回の旅はkopandaさんに見所などをたくさん教えていただいたので、一味違ったものにすることができました。感謝です。ありがとうございました。

東大寺から春日神社へ



東大寺には3回目の訪問である。

それでも、もし奈良を今後訪ねることがあっても何回でも訪れることだろう。それくらい南大門から始まるこの壮大な木造建築が私は大好きである。

東大寺といえば「奈良の大仏さん」で親しまれ、世界遺産になった仏教文化の宝庫であり、華嚴宗の大本山である。



神亀2年（728）聖武天皇が早世した皇太子基親王の菩提をとむらうために建てた金鐘山寺をはじめりとして天平13年（741）、国分寺建立の詔により、金鐘山寺が昇格して金光明寺となり、東大寺と称した。

広い境内には大仏殿（金堂）を中心に、南に南大門、東に二月堂・法華堂、西に戒壇院などが並ぶ。



天平期の仏像群

はじめ、鎌倉期の大仏様の建物などがのこり、

国宝29件、重要文化財121件を有する。
（2001年発行 小学館 週刊 古寺をゆく 東大寺）

南大門に向かって右側にある金剛力士立像（仁王像） 吽形

左側にある阿形は修理中のため拝観出来なかった。



次はこれも kopanda さんの情報で楽しみにしていた「こま犬」は仁王像の裏にあった。

写真が下手でブれてしまったが、宋代のもので、東大寺でも最古級の文化財とのこと。貴著なものを見ることができた。

南大門を通り、進むと中門に至る。



いよいよ大仏殿の偉容を見る。



次も kopanda さん情報による珍しい青銅の「蝶」である。

予備知識がなければ見落としてしまうところだったが、ここでも脚が8本ある珍しい見ることができた。

今回はこのような情報に助けられて、たくさんを知り、見ることができた。kopanda さんありがとうございました。

ひきつづき歩いて隣接する春日大社に参詣。



春日大社は、古来、神奈備信仰の対象であった御蓋山（みかさやま）の麓に和銅3年（710）、藤原不比等が武甕槌命（たけみかづちのみこと）を祀ったのが起こりと伝えられる古社。

藤の名所として知られる境内に、国宝の本殿、重文の幣殿、車舎、一の鳥居などが立ち並び。宝物殿や万葉の植物がある万葉植物園など見どころが多い。（奈良市観光マップ等より）

このあと、最終コースの平城京跡、唐招提寺、薬師寺を巡る。



逆立ち天子6189さん

こんにちは。

東大寺の灯籠には触った記憶があります。

兎に角、古い者には触りたい衝動が起きます。

☆八面全部の写真を写してきました(笑)

春日大社の灯籠は多過ぎて、見ただけでゲンナリしましたね。

☆春日大社の石灯籠はすごい数でびっくりしました。

(2015.03.03 17:42:57)

春の陽だまりさん

こんばんは！

ずっと昔、修学旅行で行った「東大寺」懐かしく思い出しました。

古都「奈良」は、地味だけど良い所が沢山ありますね。

私も機会があれば、ゆっくりと散策したいです。

☆日本人のふるさとですね、奈良は。

何回行っても新しい発見があると思います。是非また訪ねてください。

(2015.03.04 11:04:10)





結柄 yue さん

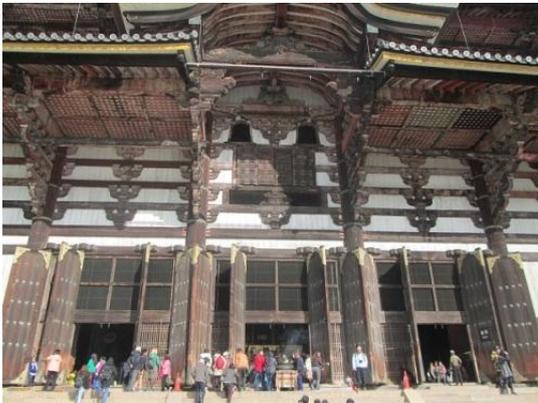
こんばんは(#^.^#)

どこを見ても貴重な文化遺産といった感じですね。

東大寺、一度行ってみたいです(*^_^*)

とても広々としているのですね。

東大寺と聞くと法隆寺とごっちゃになるような歴史観なので、もし奈良へ行く際はちゃんと勉強してから行こうと思います(笑)。



☆百聞は一見に如かず、ですか。

是非、訪ねてみてください。

事前勉強もですが、私は帰ってからの復習に、より身が入る気がします

東大寺大仏様の



前の左右にあるハスが飾ってある大きな花瓶には、**蝶が止まっている。**

寺関係の方に、宗教とこの蝶との関係を質問しましたが、あまり宗教とは関係ないとの事。

大仏殿の修復のお祝いに収められた品物で、普通、華瓶（けびょう）の、取っては、象の鼻・龍が使われるが、大仏殿修復のお祝いですので、華やかな蝶を飾りとして使われた事のようにです。

昆虫で6本足のところ、末広がりとか8門とか8はめでたいもので、

この蝶は8本足の特別のもののようにである。【結論】人間の考えた創作の蝶である。

よって、びるしゃなぶつの仏の世界には、8本足の蝶は存在せず。出典があれば別であります。